



希望の鐘 2023

2023.9.1

No.7

やる気、思いやり、根気・元気

学校教育目標：「人と人とのつながりの中で、自ら学び続ける、心豊かでたくましい子どもの育成」

～校長室からこんにちは～ スマイルドな学校を実現するために

9月がスタートしました。子どもたちの声が校舎に響き、学校ににぎやかさが戻ってきました。40日以上にもおよぶ夏休み、みなさんいかがお過ごしだったでしょうか。各教室では、子どもたちが体験した夏休みの思い出話に花を咲かせる姿がたくさん見られました。



▲「夏休みの初日のラジオ体操」

今年度の後半に向けて、これまでの希望ヶ丘

小学校を振り返ってみますと、「スマイルド」を合言葉に今年度もスタートしたわけですが、残念ながら、スマイルドな学校の実現には、まだ道半ばであると感じています。例えば、1学期には相手の中傷する落書きや感情に任せての相手を煽る言動、「死ね」などという相手の存在を否定するような言葉が見られました。様々な理由が考えられますが、他人を傷つけることは決して許されるものではありません。

そこで、スマイルドな学校を実現するために、今日の始業式では、もうすぐ始まる運動会をきっかけとして、次のような話をしました。

10月には運動会があります。みなさんは運動会が好きですか？運動会が好きな人もいれば苦手な人もいます。行事だけでなく普段の学習においても、教科によっても好きな人もいれば嫌だなと思っている人もいます。一枚の絵を見ても美しく感じる人もいれば、楽しいそうと感じる人もいます。同じものでも人によってそれぞれ感じ方が違うということ、一人ひとりの違い、それが『個性』です。

自分とは違う感じ方をする人つまり、いろいろな『個性』をもつ人が、みなさんの周りにはたくさんいます。そして、その違いを考え、認めあうことで、自分では考えつかない新しいことを学ぶことができます。また、自分の苦手なことを補ってくれることだってあります。つまり、大切な存在であることを話しました。いろいろな人がいて、世の中は成り立っています。希望ヶ丘小学校にもいろいろな『個性』をもつ友だちがいて成り立っているのです。

しかし、残念ながら、人間は自分が出会ったことのない個性と出会うと、その人間が何を考え、どんな行動を取るか予測するのが難しいので、不安に感じて自分から遠ざけようとするのがよくあります。仲間外れにしたり、時には暴力をふるったり。でも、一人ひとりの違いや個性は、その人そのものです。その違いを認め合い、尊重することは、自分にはないものを埋めてくれ、成長させてくれる宝物なのです。人と違う、自分とは違うことを大切にできる希望ヶ丘小学校にしていきたいと思います。

「スマイルド」を掲げて11年目。希望ヶ丘小学校のだれもが安心して学べる学校にするため、本気で「スマイルド」の実現に向けて取り組んでいくと、私自身、決意を新たにしました。

▲「2学期初日の登校のようす」